

# ●小児初期救急平日夜間診療事業 未実施区市町村に対する調査について

### 1 調査の目的

平日夜間における小児初期救急医療の実施は区市町村の役割であるが、平成23年2月現在（調査時）、実施区市町村は18区14市にとどまる。  
実施していない区市町村の現状を把握し、地域の実情に応じた支援策を今後検討する。

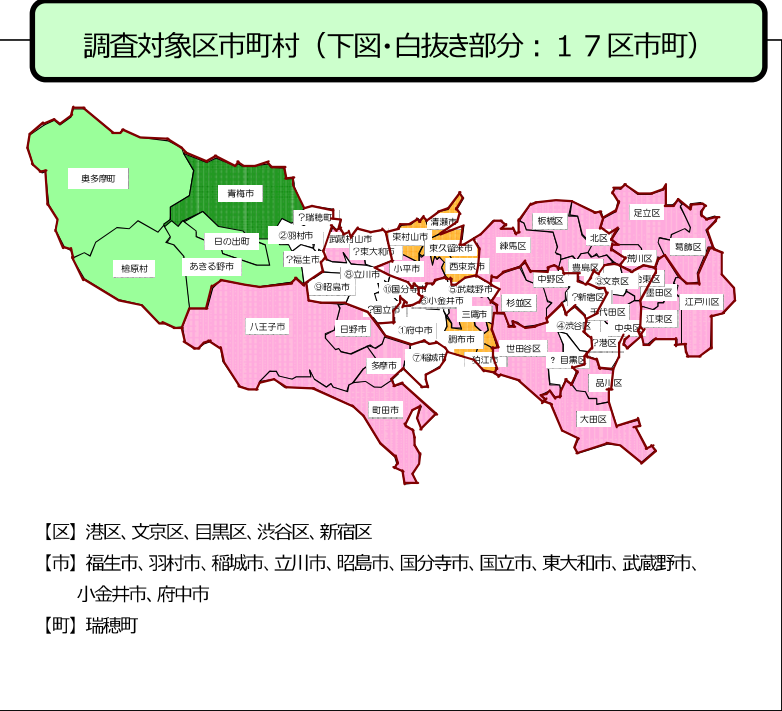
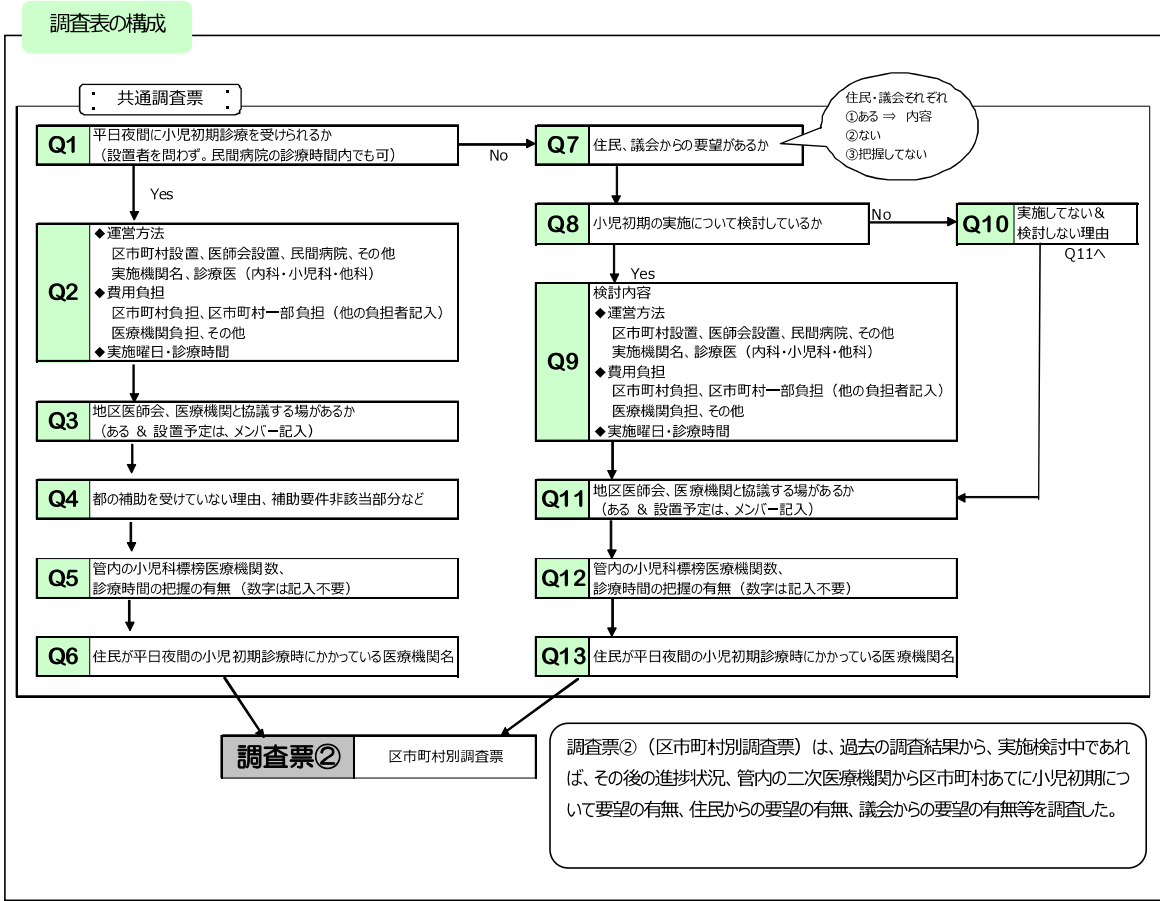
- 実施日：平成23年2月下旬～3月上旬
- 調査方法：調査対象区市町村あて、調査票送付、回収
- 回収率：100%

### 2 調査対象区市町村

都で実施している「小児初期救急平日夜間診療事業補助金」を交付していない区市町村を「未実施区市町村」とし、調査の対象とした

### 3 今回の結果

調査票Q1の『実施主体を問わず、住民が平日夜間に小児初期救急を受けられる体制があるか』をもとに集計した。



I 平日の夜間に小児初期救急診療を受けられる体制あり【 10/17箇所 】

(1) 自治体または医師会が運営、実施（都の補助要件には該当せず）

①府中市	保健センター（内・小） 毎日 19:30～22:00
②羽村市	平日夜間急患センター（内・小） 月～土 19:00～22:30

(2) 管内の民間病院が平日夜間に診療

	区市町村の関与		現在の診療体制		区市町村で実施しない理由等
	検討会等設置	財政支援	一次医療機関	二次医療機関	
③文京区	○	—	—	○ (5)	*小児救急ガイドブックを作成し区民向け啓発。 *区内に救急告示医療機関が多数あり。 *住民要望なし。
④渋谷区	—	—	—	○ (2)	*小児科を標榜する医療機関が少なく、実施が困難。 *区内に大病院が多数あり。 *区医師会でも必要に応じ急患患者へ医療機関を紹介。
⑤武蔵野市	—	○	—	○ (1)	*武蔵野日赤と覚書締結。財政的支援。 *武蔵野市は地区医も参加
⑥小金井市	—	○			
⑦稲城市	—	○ (市立)	—	○ (1)	*週1日、地区医が参加し、初期診療実施
⑧立川市	—	—	○	△ (0)	*以前、近隣市と共同実施を検討。（未実施） *現在は準夜帯診療実施医療機関を、市民に周知
					●ナビタスクリニック立川 月～金 15:00～21:00 ●災害医療センター 水 17:00～8:00 ●立川若葉団地クリニック 月～金 17:00～21:00
⑨昭島市	—	—	—	○ (1)	*小児科医の確保が困難
⑩国分寺市	—	—	○	(0)	*小児科医が少なく、固定施設での実施が困難。 *23年度に、新たに開業するクリニックが夜間診療を実施（調査時）
					●ケン小児科内科クリニック 月水木 18:00～21:00

↑（ ）の数字は、管内二次医療機関数（小児）

II 平日の夜間に小児初期救急診療を受けられる体制なし 【 7/17箇所 】

(1) 実施に向けて検討中

	検討会等設置	住民・議会要望	今後について
①福生市	○	○ (住・議)	羽村市もあわせ、2市1町での共同実施について検討中
②瑞穂町	○	—	

(2) 検討予定または、検討終了

③港区	○	—	区内の病院を、再開発にあわせて誘致。今後実施検討予定
④新宿区	△ 以前連絡会	—	小児初期救急医療連絡会にて、各医療機関と今後の役割検討。当面、病院は初期救急、行政はかかりつけ医の推奨や病気時の対応について普及啓発。
⑤東大和市	△ 設置準備中	○ (議)	検討会の設置を東大和市医師会とともに進めているところ。 (小児初期、休日診療) 複数の自治体での利用なども視野に入れて検討予定。

(3) 検討していない

⑥国立市	—	—	以前、近隣市と共同実施を検討したが実施に至らず。市内の小児科（医師会加盟）の了承も得られず。今後の具体的な施策も未定。
⑦目黒区	—	—	平日夜間の小児初期救急医療の実施より「かかりつけ医」を決めることを推奨